

地域活性化部会の進め方について【案】

地域住民の意見

これまでの部会やワークショップ意見

- ①地域魅力のブランド化、観光まちづくり
(地場産業、歴史伝承、外国人観光客…)
- ②魅力情報発信
- ③団地空間の活用
- ④働く場づくり
- ⑤地域を学ぶ・伝える 等

店主・事業者の意見

店主との意見交換(昨年11/21に実施)

サウンディング調査結果より

- ケイエスビー(弥生の里)より、外国人宿泊客の地域での購買・飲食などをサポートする取り組み(例:商品説明の外国語表記など)も可能との回答あり



今後の部会活動のシナリオ(案)

⇒「現在登録の部会メンバー」+「店主(賛同者)」が、ケイエスビー(弥生の里)と連携し、『地域まるごとホテル』プロジェクトに取り組む

○地域の協賛店舗では、弥生の里の協力を得て、外国人宿泊客のお土産購買、飲食や文化体験ができるよう、受け入れ態勢を構築する

例:外国語表記、簡単な会話指導、電子決済の導入、対応商品・サービス・メニューの企画 など

○弥生の里では、地域の協賛店舗を紹介するほか、弥生の里・地域・和泉市の協働の取り組みで相乗効果をねらう。

例:周遊マップの作成、加盟店割引企画、案内コンシェルジュ(地域ボランティア等)合同イベント(バルなど)

⇒プロジェクトを先行させた上で、その他の課題にも対応した取組体制の構築をめざす